

平成28年度

教育委員会の点検・評価表



大館市教育委員会

教育総務課

目 次

基本理念 ふるさとに学び未来を創造できる「人財」の育成			
I 点検・評価の主旨について			頁
1	点検・評価の主旨		1
2	点検・評価の対象		1
3	学識経験者の知見の活用		1
4	報告書の作成		1
II 点検・評価の結果について			
基本目標			
評価項目・内容		担当課	頁
1 信頼と安全を築く教育環境の整備充実			
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る	教育総務課	2
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める	教育総務課	3
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める	教育総務課	4～6
4	大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信に努める	教育総務課	7
2 ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める	学校教育課 教育研究所	8～9
2	学校を核として、各地域にスクール・コミュニティの形成を図る		10
3	「おおだて型学力」の向上を目指し、実践的指導力を養成する教職員研修を実施する		11
4	IT機器の導入など、時代に即した教育環境の整備に努める		12
3 ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援			
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	生涯学習課 中央公民館 地区公民館 勤労青少年ホーム 女性センター	13～14
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する		15～19
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する		20
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する		21～24
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める		25
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する		26
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する		歴史文化課
4 市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充			
重点施策			
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する	スポーツ振興課	30
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		30
3	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する		31
4	近隣市町村と連携し、スポーツ交流を推進する		31
5	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション施設の整備計画を推進する		32

I 点検・評価の主旨について

1 点検・評価の主旨

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づき、教育委員会は毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければなりません。

本市教育委員会では、この法律の主旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民に対して明確でわかりやすい説明を行うため、本報告書を作成し議会に提出するとともに公表するものです。

2 点検・評価の対象

点検・評価の対象は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第21条に規定する教育委員会で職務権限とされている事務のほか、平成28年度の事務・取り組みとし、学校教育や生涯学習に関する事など、本市教育委員会が所管するすべての事務を対象の範囲としています。点検・評価に当たっては、大館市の「教育大綱」に掲げる「基本理念・基本目標」に沿って、重点施策としている事務・取り組みを選定して実施します。

3 学識経験者の知見の活用

点検・評価の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図ること（地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第2項）が求められていることから、学識経験者2名以上を選任し、点検・評価について個別に意見を聴取します。

4 報告書の作成

報告書の作成手順は、次のとおりです。

- ①各課・館において、所管している事務の点検・評価項目及び目標（重点施策点検・評価表の目標、活動内容）を作成します。（4月）
- ②学識経験者から点検・評価の目標設定案について、意見を聴取します。（5月）
- ③教育委員会に点検・評価の項目内容を報告し了承を得ます。（5月）
- ④3月末までに実施状況と見込みを取りまとめ報告書（点検・評価）素案を作成します。
- ⑤学識経験者から、報告書素案について意見を聴取し、報告書案を作成します。
- ⑥教育委員会（5月定例会）で、報告書について決議します。
- ⑦報告書を6月議会に提出するとともに、ホームページ等で公表します。

重点施策点検・評価表

1-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
1	安全・安心で快適な学校生活のための教育環境の整備充実を図る		担当課(館)
	① 小中学校の耐震対策事業の実施		教育総務課
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・早口小学校体育館、及び田代中学校校舎の耐震補強工事を9月までに実施する。 ・学校施設の耐震化率を100%とし、耐震対策事業を完了させ、子どもたちが安全で、安心して学習できる教育環境を整備する。 	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>安全で安心な教育環境の確保に向けた学校施設の耐震化事業は、昨年度繰り越した早口小学校の体育館と、田代中学校の校舎の耐震工事を完了させた。 また、財源は国への手続きにより国庫補助金を充当させた。 平成18年度より取り組んだ学校施設の耐震対策事業は11年を要したが、当市の学校施設の耐震化率は100%となり、事業が完了した。</p>	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	他では、耐震化事業を予算等の問題で実施できないところもある中で、耐震化率100%の目標を達成したことを高く評価する。	
	② 学校改修工事等による教育環境施設の充実		教育総務課
	活動内容	建設後25年以上経過した小中学校が25校中21校と8割を超え、学校施設の老朽化対策を講じなければならない時期にきている。 ・各学校の改修、修繕が必要な事項の調査により、改修内容の分類、必要工事費総額の算出により、小規模から中規模の改修計画を策定する。 ・大規模改修は、多額の事業費となることから、地方財政措置のある国庫補助事業(長寿命化改良事業)の実施を見据えて、全体の年次計画を作成し、H29年度から事業着手を可能とする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <p>学校の改修・修繕については、学校要望などにより緊急性の判断と優先順位により、学校運営に支障が出ないように対応した。しかし、大規模な改修が必要なものは、国の補助金が充当させる大規模改修事業(長寿命化)での実施検討が必要である。 今年度、市全体の公共施設等総合管理計画を策定することになり、教育委員会での独自改修計画の策定は見送り、計画に参画した。 その計画は本年3月に策定され、教育委員会所管の施設は約30%を占めている。</p>	
	課題等	将来的な人口減少や少子化の進展が避けられず、現在の施設保有量のままでの維持管理は困難な状況にある。学校施設においても、上位計画である公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設計画を策定し、将来的な在り方を定める必要がある。 個別計画には、学校適正配置計画との調整、施設の劣化状況の調査、構造躯体の健全性、今後かかる維持・更新コストなどにより個別計画を策定する。 市単独事業費での実施は財政状況が厳しく、国庫補助金を活用する手法で計画する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	経25年以上の学校を8割超も抱えて、ゴールラインが見えないきわめて困難な施策であると考えられる。各学校からの要望も多数あると思うが、施設の状態や規模等、総合的な判断によって適切な順番で進めていただきたい。難儀な施策ではあるが、堅実に策定作業に務めることを期待したい。		

重点施策点検・評価表

1-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
2	健康維持増進の場としてのスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める		担当課(館)
	① 新たなスポーツ、レクリエーション施設の整備充実に努める		教育総務課
	活動内容	二ツ山総合公園への幼児児童を対象とした新たな施設や、閉校後の県立高校跡地への運動公園整備内容と同時に敷地・施設の取得を検討し、交流人口の増加と地域の活性化に繋げる方策を策定する。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	点検評価	二ツ山総合公園への幼児エリア整備については、工事実施設計を完了させた。また、整備に向け整備計画地の樹木伐採処分を実施し、平成30年供用開始に向け計画どおり事業を進めた。 高校敷地については、スポーツ公園として活用する基本構想を県に示し、県から3月21日に高校敷地・校舎を無償で譲渡を受けた。同時に、耐震性能の無い2棟の建物は、県で解体することを取り付けた。 花岡地区の振興対策と、スポーツによる交流人口の拡大に向けた施設整備の敷地の確保ができた。	
	課題等	今後は、庁内・関係者の協議、市民の意見を反映させた整備基本計画を策定し、施設整備内容、事業期間等を定め計画的な施設整備を実施することになる。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	旧大館工業高校敷地・校舎を、県に対して真摯に交渉し、無償譲渡を取り付けたのは高く評価する。廃止された学校でも、県が所有している間は財産管理をしなければならない状況を見込んで、適正に判断した上での取得は、成果であり評価したい。	
	② 適切な施設補修の実施		教育総務課
	活動内容	長根山陸上競技場の公認認定に向けた改修工事、田代体育館トイレ洋式化工事等、各施設の快適性、安全性、美観等に配慮した計画的な整備・補修を実施する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
点検評価	長根山陸上競技場については、第2種公認競技場検定に向けインフィールドの芝生張替工事を完了させた。 また、インバウンドやスポーツ合宿の誘致に向け、田代体育館のトイレ洋式化工事を行った。その他、各スポーツ施設8件の修繕・改修工事を行い、快適で安全な施設整備に努めた。		
課題等	長根山陸上競技場については、検定に向けた走路改修工事を次年度に行い、第2種公認されるよう改修を行う必要がある。 その他の施設も、計画的な改修を引き続き実施する必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見	トイレ洋式化工事の着手は、インバウンドへの対応も視野に入れた先見性のある取り組みと評価する。また、長根山陸上競技場改修工事については、説明を受けた実施工程の内容から判断すると(芝生の張替など)、公認競技場として早く供用できるような配慮が見られる。		

重点施策点検・評価表

1-3-1

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	① 市民文化会館の大規模改修事業の実施		教育総務課
	活動内容	平成20年度から年次計画で実施している文化会館大規模改修事業として、最終年の本年度は冷暖房設備改修工事を実施する。しかし、外壁や駐車場不足などの残された課題があることから、新たな事業計画の策定を含め課題解決に取り組む。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 計画に基づき、H28年度は老朽化した空調設備改修工事を実施し、快適性と安心・安全性を向上させた。 しかし、昨年12月にタイル外壁の一部剥落事故が発生し、緊急の全タイル外壁の調査と早期改修に向け実施設計を実施した。平成29年度から2か年で改修するよう、議会へ報告し改修事業に着手した。 また、耐震化調査を行い6月に判明する予定である。駐車場不足については緑地の駐車場化を検討したが事業費に対し駐車台数が少ないことから、空き地等の活用を再検討することにした。	
	課題等	大規模改修事業計画に外壁改修を追加し、貸館に極力影響の出ないように、外壁改修工事を確実に実施する。 また、耐震化が必要となった場合の補強工事の実施や駐車場不足などの残された課題の解決に向け、新たな年次計画を策定し取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	空間の大きいホールだからこそ、耐震性を強固なものにしなければならないと考えられる。6月の調査結果を基に、今後の対策を進めてもらいたい。外壁改修工事に関しては、貸館や利用者に対して支障を来さないよう十分配慮して計画されていて、市民文化会館の存在意識を失うことのない、施策の推進を図っている。	
	② 公民館改築事業及び移転事業の実施		教育総務課
	活動内容	長木公民館改築工事、矢立公民館の旧矢立中学校への移転工事を年内に完了させ、平成29年正月からの使用開始を可能とする。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長木公民館移転事業は、議会に工事契約議案の提案と議決を得て、6月に工事を発注し、計画どおり12月に完成させ供用開始した。 また、矢立公民館の旧矢立中への移転工事は、学校の面影を生かしつつ、利用しやすい施設として12月に工事を完成させ、供用開始した。	
	課題等	今後、公民館として有効に活発に活用されるよう取り組む必要がある。 矢立公民館は、旧学校を転用した初めての事例となった。今後、施設統廃合による空き公共施設が増加することから、今回の事例を参考とし有効活用に向けて、積極的に転用導入を図っていく。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	公民館内部の配置等を、地元住民の要望を取り入れ建設されているので、利用者にはその要望どおりの利活用が図られることを希望したい。さらには、豊かな人間形成の場、地域の活性化にもつながることを期待したい。市内には閉校した学校等が数多くあるため、市内外に広く周知させながら空き公共施設の有効活用が図られるように努められたい。	

重点施策点検・評価表

1-3-2

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める		担当課(館)
	③ 中央図書館の施設充実並びに松下村塾の移転		教育総務課
	活動内容	駐車場不足と施設の充実に向けた拡張工事を実施する。また、松下村塾の更なる活用に向け、図書館敷地に移転工事を実施する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 手狭となっていた図書館に、児童用図書コーナーや読み聞かせ等に活用できる多目的室の増築と、休憩時に飲食できるラウンジを増築させ、施設の充実が図られた。 松下村塾は、栗盛記念図書館の隣に移転させ、同時に電気設備や冷暖房設備を整備し、通年使用が可能で活用しやすい施設に整備した。	
	課題等	両施設とも、今後、積極的な活用を図ること。	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	松下村塾は、他には見られない建造物であり、滅失せずに移築したことは素晴らしいことである。利用者から、特別な場所と意識してもらえるような施設となり、また、市は将来の大館を担う人材を育成するという発想につながる活用になることを願っている。栗盛記念図書館は、増築によって施設が充実したことで、市民が好んで足を運ぶ図書館となるよう期待する。	
	④ 中央公民館等の社会教育施設の維持管理		教育総務課
	活動内容	上川沿公民館非常用自家発電機改修工事他の実施により、社会教育施設の良い施設環境の維持を図る。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 目標どおりに上川沿公民館の非常用自家発電機改修工事を完了させた。その他、中央公民館応接室内装改修工事、田代公民館赤川分館管理棟屋根改修工事などの改修工事を実施した。 社会教育施設について、危険性や緊急性等の判断により優先順位をつけ92件の工事・修繕を実施し、利用者にご不便と支障を来さないように対処した。	
	課題等	施設全体の老朽化が進んでいることから、今後も計画的な改修に努め、公民館活動に支障の無いようにする。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	示された資料から、どの施設にどのような課題があるかを、きちんと捉えて施設環境の維持が図られていることを強く感じた。また、92件の工事・修繕を施工した実績を高く評価したい。上川沿公民館の非常用自家発電機改修工事の事例のように、施工によって設備が再稼働し、機能の維持が可能なものについては、修理による再生化をすることも選択肢の一つである。	

重点施策点検・評価表

1-3-3

基本目標						
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実					
重点施策						
3	豊かな人間形成の場としての社会教育施設等の整備充実に努める	担当課(館)				
	⑤ 社会教育施設の耐震対策事業の実施	教育総務課				
	活動内容	耐震性能を有していない田代公民館の耐震補強工事を実施し、利用者の安全と避難所としての機能を確保する。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)				
		目標どおりに田代公民館の耐震工事を完了させた。 工事においては、施設利用者に極力不便をかけないよう、工事期間の短縮に努めた。 利用者の安全と避難所としての機能を確保した。				
	課題等	耐震対策は完了したが、今後も公民館活動に支障の無いように施設改修に努める。 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 廃止検討					
	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度					
学識経験者等の意見	今年2月に研修会出席のため田代公民館の集会室を利用した際に、快適に研修を終えることができた。適正な施設改修が行われていると実感した。					
活動内容						
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)					
課題等	<table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度	
取組の方向性						
<input type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見						

重点施策点検・評価表

1-4

基本目標			
1	信頼と安全を築く教育環境の整備充実		
重点施策			
4	大館の教育の理念と実践について、市民の周知と全国への発信に努める		担当課(館)
	① 教育委員会施策の情報発信の強化		教育総務課
	活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会会議に、施策やその実施状況の報告等を的確な時期に行い、協議・討議を諮り、ホームページ等で議事録を公表する。 ・総合教育会議の議事録、教育委員会点検評価の公表など、教育委員会の活動が市民に理解されるよう努める。 ・開かれた教育委員会としてより透明性を図るため、ホームページの他、定例記者会見や報道機関への取材要請などを活用し、情報発信をより積極的に行う。 	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 総合教育会議の議事録、並びに教育委員会会議の議事録をホームページで公表し教育委員会の活動内容の透明化を図った。 また、教育委員会の重点施策の点検・評価について、学識経験者の知見を活用し実施事業の客観性を確保し公表し、その他情報も発信し内容充実に努めた。ホームページへのアクセス数は8,840件で月平均約740件と前年対比15.5%増となっている。	
	課題等	常に最新情報の発信と、内容の整理・更新を行う。 ホームページ利用者に、分かり易く利用しやすい環境とする。 大館の教育の理念と実践について、市民への周知と全国への発信が必要である。 ホームページ以外でも、定例記者会見や報道機関への取材要請などの積極的な情報発信が必要である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	示された資料を見ると、ホームページのアクセス件数が多く、年々増加していることに注目される。これは、「見たい」と関心を持つような内容をいち早く、かつ的確に情報が納められているからであり、瞬時に情報が得られる時代の使い方に対応しているからである。全国から注目されている大館市教育委員会が、上手に発信されていると評価する。		
	活動内容		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)	
	課題等		取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見		

重点施策点検・評価表

2-1-1

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開		
重点施策			
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。		担当課(館)
	① 大館の未来を切り拓くための総合的人間力(「人間的基礎力」「大館市民基礎力」「大館市民実践力」)の育成		学校教育課 教育研究所
	活動内容	第8次学力向上対策5カ年(平成26年～平成30年)3年目である。中間評価の成果を踏まえつつ、実践をさらに進める。保護者を含めた市民へふるさとキャリア教育の理念や各校の百花繚乱作戦を情報発信し、浸透させる。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95～100%) (80～94%) (80%未満) 中間評価を意識して各校、各専門部が取り組み、それをおおだて型学力推進便り「SHINK A」にまとめ、全職員で成果と課題を共有した。他者からの評価として、外部評価者3名による授業参観等で、学び合いを核とする授業スタイル、児童生徒の学びに向かう姿勢には高い評価を得るとともに、課題も指摘していただいた。 また、他県からの視察者からも評価をしてもらい、本市の教育の特徴や強みを明らかにすることができた。特に、8月に行われた博報教育ワークショップでは、全国からの参加者と本市の教育をテーマに協議し、その結果を市内の教職員に発表し、還元することができた。	
	課題等	各校の百花繚乱作戦が充実し、それぞれの活動が地域を巻き込み、その様子や成果が新聞等でも紹介されている。今後は、経済教育を導入し、新たな視点を持ちながら進める一方、市民や企業もふるさとキャリア教育を通して成長していく体制を構築する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	経済教育など新たな取組が増えるが、ふるさとキャリア教育で生じた課題を次につなげるものであり、何のためにやるのか原点を押さえることが大事である。視察等外の目からの評価は客観的評価として意味がある。	
	② 体力の向上と食育の推進		学校教育課
	活動内容	安心安全な学校給食と食育の推進、食物アレルギーへの対策を充実させるため、食物アレルギー対応検討委員会を立ち上げる。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95～100%) (80～94%) (80%未満) 学校給食委員会、食中毒予防研修会に加え、新たに「食物アレルギー対応検討委員会」(6/21)を県内初で立ち上げた。食物アレルギーをもっている小学生148人、中学生79人(エピペン保持者8名含)について、医師や養護教諭等関係者からなる委員に対応を検討いただき、適切な対応ができるように体制を整えた。 学校給食委員会では、給食費の値上げ、食物アレルギー対応マニュアルの改訂のため臨時委員会を含め3回実施して、調査や協議を十分に行った。	
	課題等	給食数の減少と栄養士の確保のため、長木調理場を廃止し、北地区給食センターへの統合を進める。アレルギー対応については、昨年度改訂した「食物アレルギー対応マニュアル」の周知、活用を図っていく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	教育委員会として食物アレルギーをもっている児童生徒が正確に把握されており、対応委員会で精査もされていることを高く評価したい。給食の安全な提供、栄養素の確実な摂取等、今後も適切な運営を継続させてほしい。	

重点施策点検・評価表

2-1-2

基本目標		
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開	
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育を通して、自立の気概と能力を備えた人財の育成に努める。	担当課(館)
	③ いじめ・不登校対策事業	教育研究所
	活動内容	いじめ防止基本法を浸透させる取組、いじめ・不登校調査の実施、関係機関との連携により、未然防止と早期対応をする。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
	課題等	中学生の不登校は横ばいであるが、小学校の不登校が倍増している。早期対応の意識を徹底していく。
	学識経験者等の意見	社会には「いじめは悪である」という認識があるからこそ、隠ぺい傾向となりがち。本市の場合には「よく調べたから認知件数が増えている」と捉え、学校現場にも件数が多く出てきたら「よく調べてくれた」と声をかけることが、今後も隠さず報告することにつながる。不登校の背景の共通項として、親子関係も潜んでいることから、様々な相談機関で門戸を広くして相談を受け入れるのは大事なことである。
	④ 全教職員と関係機関のネットワークで支援する特別支援教育の推進	学校教育課 教育研究所
	活動内容	子ども課やスクールカウンセラーとの連携により、障害のある子どもへの合理的配慮、基礎的環境整備を推進する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満)
	課題等	適正就学が進むことで、特別支援学級の人数が増え、指導に困難を抱える学校も出てきている。通級指導教室のニーズも高まっているが、実際に受け入れる人数が限られており十分ではない。教育支援員を必要とする児童生徒が年々増加し、300名を越えているが、教育支援員の増員は難しい状況にある。
学識経験者等の意見	「教育支援」という名称へ変更したところに、市教育委員会の意思が感じられ、適切である。子どもにとっての環境整備に務めることで、保護者の理解が進み、子どもが安心して学校に行ける。将来を見据えた教育は大事である。また、教育支援員の存在で、学級担任も存分に力が発揮できている。これは、周りの子どもにとってもプラスになっている。	

重点施策点検・評価表

2-2

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開
重点施策	
2	学校を核として、各地域にスクール・コミュニティーの形成を図る。
	担当課(館)
	学校教育課 教育研究所
① ふるさとキャリア教育を根幹とした特色ある学校経営の展開	
活動内容	ふるさとキャリア教育夢事業を活用して、各校の百花繚乱作戦をより充実・発展させ、地域全体を巻き込んだ教育活動にしていく。地域の学習材等の教育資源を活用した授業や起業体験活動の開発を支援する体制を構築する。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 県教育委員会の「起業体験推進事業」を6小・中学校が実施し、小学校は6次産業化に取り組み、きりたんぼまつりで販売をした。中学生は起業家精神を学ぶ講演会や親子ふるさとキャリア教育セミナーを開催するなどして、それぞれに成果を得るとともに、モデル市として他市町村にも実践を周知する役割が果たせた。 ふるさとキャリア教育推進会議を年2回開催し、商工会議所や青年会議所等から専門的な助言や支援を得て、各校の活動がレベルアップした。
課題等	地域の学習材を活用した単元、授業づくりを表彰するふるさと授業賞への応募が少なかった。来年度の道徳の教科化に向けて、ふるさと単元の開発を小・中学校へ働きかける。
学識経験者等の意見	スクール・コミュニティーという発想がすばらしい。ふるさとキャリア教育は全国に誇れる本市の教育理念である。子どもの成長を通して大人が教育に参画し、それが地域の活力を醸成している。大館の子どもたちは、本当に挨拶がよい。大人の方が子どもの背中を見て、町内でも挨拶が広がっている。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
② 学校評価の充実による学校運営の改善と情報の積極的な提供	
	学校教育課
活動内容	校長会と連携し、大館市が目指すふるさとキャリア教育の方向と合致したものにす。人事評価との連動により、職員の経営参画意識を高め、学校経営の充実につなげる。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 校長会において、学校評価一覧表を見直し、全小・中学校が、ふるさとキャリア教育が見える様式で取り組んだ。 評価指標の1つにふるさとキャリア教育を入れており、外部からの評価を得て、学校経営に生かしている。その結果は、各校のホームページに前期と後期に公表している。
課題等	学校関係者評価委員からは、評価書が難しく分かりづらいという声もいただいている。年々、内容が多くなっており、市民や保護者に分かりやすいまとめ方、表し方を工夫する必要がある。今後、評価項目、内容を精選していくことも検討したい。
学識経験者等の意見	評価者にとって、評価書は情報量が多く、読み取りに時間がかかる。たくさんのデータも載っているが、分析までやりきれないのが実状。評価内容を分かりやすくする工夫は必要かと思う。保護者のヒヤリングも、時間をさいて出席してもらいながら、話すのは8分程度というのも、見直しが必要かもしれない。形式にとらわれず、思い切ってわかりやすくしてみようか。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

2-3

基本目標			
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開		
重点施策			
3	「おおだて型学力」の向上を目指し、実践的指導力を養成する教職員研修を実施する。		担当課(館)
	① 「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」を鍛えるための授業改善		学校教育課 教育研究所
	活動内容	授業改善に向けた研修会を充実するとともに、学校訪問による適切な指導・助言を行う。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) おおだて型学力については、4月の市教育研究会総会においてリーフレットを配付し、協議会や学校訪問を通じて全教職員に説明。市教研では、授業改善の3つの視点を指導案に明示する提案をし、各校が取り組んだ。 1月の教職員実践発表会では、16の研究発表があり、先進的な実践を教職員間で共有することができた。	
	課題等	おおだて型学力を育成する授業のモデル的取組が見られるようになったので、その取組を他校にも参観してもらうことで、全校が自校なりの授業スタイルを確立できるよう支援していく。 特に、授業マイスターや教育専門監等を活用して、師範となる授業を多くの教員に広める機会をもつとともに、教育研究所が独自に授業支援を実施する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	「目標を上回る」の評価は適切。授業改善の3つの柱は実態に応じた進め方をしてよい。ただ、「学び合い」が中心になると思うが、子ども達には様々な学習スタイルを好む個人差があることも念頭において進めてほしい。	
	② 幼保小中高大のさらなる連携及び地域社会、産業界との連携の推進		学校教育課 教育研究所
	活動内容	現在行っている教育懇談会を充実させ、縦の一貫性をより強める。子どもハローワーク等で、職場体験、地域ボランティア、地域行事への参加を推進し、「学社融合」をより促進することにより、地域を活性化する新たなエネルギーを生み出す。「人間的基礎力」を確かに身に付けるため、就学前教育と小学校低学年の連携を強化し、系統的に育成する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 教育懇談会の協議により、桂桜高校や看護福祉大学の授業参観を実施し、ふるさとキャリア教育における連携を確認した。 秋田職能短大と連携して5年間取り組んできたロボット人財育成では、全国大会で2連覇する快挙だった。また、文科省・県教委委託事業を活用して、おおだて型学力の「人間的基礎力」の育成を担う就学前教育の充実に向けた体制構築を研究した。(～H30)事業を活用して、幼児教育アドバイザーと連携アドバイザーを配置し、研修用教材の作成に取り組んだ。	
	課題等	就学前教育と小学校教育の接続に関する研究を進める予定である。その後、市としての接続期の在り方をリーフレットとして作成する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	地域に門戸を開いている大学が本市には2校もあり、恵まれた環境にある。教育懇談会をすることで、互いに顔が見え距離が縮まる。大変よい方向性でやられている。		

重点施策点検・評価表

2-4

基本目標	
2	ふるさとを担う「未来大館市民」を育成する学校教育の展開
重点施策	
4	IT機器の導入など、時代に即した教育環境の整備に努める。
	担当課(館)
	① 情報化・国際化、インクルーシブ教育システム等に対応する人的・物的環境の整備
	学校教育課 教育研究所
活動内容	タブレットPCや電子黒板を今年度は中学校に整備する。ALTや外国語活動支援員の有効活用を図り、教員の資質向上と児童生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。 特別な支援を必要とする児童生徒への教材・教具等については、教育研究所の教材センターの活用を促進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) タブレットPCや電子黒板が中学校に整備となり、全小・中学校にIT環境が整った。活用についても、上川沿小学校が先進事例として授業公開や実践発表をして周知した。特別支援教育では合理的配慮、基礎的環境整備のため衝立やタイムタイマー、教材等をスクールカウンセラーのアドバイスにより必要に応じて各校に貸し出した。
課題等	今年度から次期学習指導要領の実施を見据え、小学校英語の教科化、外国語活動の前倒し、道徳の教科化、プログラミング教育の導入などに対応できるカリキュラム作成や教材開発に取り組む。
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	小学校の英語教育スタートに当たり、本物に馴染ませる環境づくりが重要である。市としてのプランを示すことで、共通したやり方を人が変わっても同じように指導ができることが望ましい。先生方が「やらなければ」と思えるアプローチを市として考えてほしい。
	② 安心・安全で、児童生徒の個性や特性が発揮できる学びの場づくり
	学校教育課 教育研究所
活動内容	第2次学校教育環境適正化委員会を立ち上げ、統合について基本方針を検討する。北陽中学校については、今後の統合に向けてモデル的役割を果たすと考えられることから、支援を継続していく。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 第2次学校教育環境適正化計画は、花矢地区の住民感情も考慮して、一時休止とした。北陽中学校は開校2年目も、財政的なバックアップを継続することができた。北陽中生の学習、生活は安定し、様々な面で成果を発揮しており、学区住民からも評価されている。また、花岡・矢立・釈迦内各地区の防災活動、ボランティア、地域行事に積極的に参加していることから、地域からも頼りにされ喜ばれている。
課題等	平成29年度は、第2次学校環境適正計画を検討する委員会を立ち上げ、市としての方向性をまとめる。今年度は委員の選定、委員会の開催、情報収集に取り組み、平成30年度内には市としての素案を作成する。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	矢立公民館がよい形で活用され、地域からも喜ばれている。北陽中も橋や道路も整備してよい支援ができている。住民と保護者の両方の同意を得るのは難しいことだが、統合してよい学校ができたという評価が次につながる。難しい問題だが、色々な人の知恵を借りて方向性を作ることで説得力のある素案をつくってほしい。

重点施策点検・評価表

3-1-1

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課(館)
	① 達人講座の実施	生涯学習課
	活動内容	地域のサークル等の講師(達人)が、小中学生(親子含む)を対象にボランティアで講座を開設し、16講座を実施する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 目標どおり、16講座を実施することができた。
	課題等	講座数が年々減りつつあるため、人財名簿等から希望者を募り講座数を増やしていきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	高齢化による減少はやむを得ないかもしれないが、頑張って継続していただきたい。
	② 人材リスト「おおだて人財名簿」の充実と活用	生涯学習課
	活動内容	高等教育機関(大学、短大)や学校ボランティア、公民館等から新規人材を発掘し、特技や知識を持つ市民を「人財」として募集・登録し、学校や公民館などさまざまな学習活動の場で活用を促す環境の整備を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 新規人財登録は6件増だが9件の取り消しがあった。人財名簿からの講座開講も310件と昨年より53件減となった。
	課題等	人財名簿登録者の高齢化による名簿取り消しが相次いでおり、登録者は年々減少してきている。より広い周知をして登録件数増加及び講座開講を促していきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	高齢化で人材発掘は難しいと思うが、自薦を遠慮して登録しない人もいるのではないかと。他薦・紹介という形をとってもいいのではないかと。また、活用に向け他市町村と情報交換してみてもどうか。大事なことで継続していただきたい。	

重点施策点検・評価表

3-1-2

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
1	ふるさとキャリア教育の理念に基づく「知の循環型社会」の形成に努める	担当課(館)
	③ 「大館市出前講座」の充実と活用	生涯学習課
	活動内容	市民の自主的な学習活動を支援するため、市の制度や事業等について市職員が出向いて説明を行う「出前講座(44講座)」を実施する。
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 平成28年度は、119件6,938人が受講し、昨年度より28件3,533人の大幅増加となった。今年度より生涯学習課で開講しているワンだふるはちくんダンス講座の希望者が多く大幅増加の要因となった。
	課題等	引き続き市民の学習活動を支援するべく継続させていきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	職員は大変だと思うが、非常にいい講座を開設している。ぜひ継続していただきたい。
	④ 公民館事業への青少年の参加促進	中央公民館
	活動内容	各公民館が、小・中・高校生を対象とした事業を学校休業日を利用して開催し、参加を促進する。既存の事業を総括し改善を加え、新規事業も企画・立案し、新規参加者が年々増えていくよう配慮する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年の健全育成及び福祉増進を図るという点で、当公民館では小学生対象の「わんぱくスクール」を通じ、また、高校生対象のまちづくりボランティア「HACHI」を通じて、講演会・講習会の開催やグループ活動に必要な講習室・集会室等の施設利用を促進させている。しかし、該当年代者の利用はまだまだ少なく、なお一層の呼びかけが必要である。各公民館も同様の状況にある。
	課題等	青少年の利活用を促進させるために、彼らを対象としたイベントや活動を企画することが必要である。その一つとして就職や仕事に活かせるように、特定の講座を受講することによって、一定の資格が得られるような工夫をすることも検討課題である。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	中公のわんぱくスクールについて、学校や家庭では体験できない内容が多いのでとてもいいと思う。また、学区を超えての交流もできるのでもいい。継続してほしい。将棋教室について、頭を使ってじっくり考える力がつくのでもいいと思う。継続してほしい。問題点は青少年の受け皿がないこと。パソコン講座をやっても高齢者ばかりくる。今の青少年は学校でパソコンを学習しているのだから、参加する人はほとんどいないと思われる。講座に工夫が必要と思われる。	

重点施策点検・評価表

3-2-1

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	① 学校支援地域本部事業の推進
	生涯学習課
活動内容	市内の全小中学校を対象として、学校で必要とする活動と地域住民の知識と経験をマッチングさせ、地域の方々をボランティアとして派遣するなど、地域の教育力を学校教育へ活用するものであり、より効果的な学校運営を支援するとともに、地域ぐるみで子どもをはぐくむ環境の整備を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 全3回の県北地区コーディネーター研修会へ参加するほか、1月18日の全県交流会では県内他市町村の取り組みを学び、交流を得る機会とすることで、地域コーディネーターの資質向上を図った。また、8中学校・17小学校において地域の方々によるボランティア活動や講師としての学習活動や事業イベントを行うことで、子どもたちと地域が繋がりをもち、地域ぐるみの安心・安全な環境づくりに努めた。
課題等	新たな事業や他学校との連携を図るため、各学校の事業や取り組みを参考にできるよう、コーディネーターの連携強化を目的とした会議等を新たに開催する必要がある。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	学校の門戸を広く開け、地域の人を迎える形で、地域ぐるみで子どもたちの目に見えない学力を育てることは大切。その意味で、このコーディネーターはいいのではないかと。
	② 家庭教育の充実
	生涯学習課
活動内容	家庭教育推進事業の一環として、市内幼稚園、保育園、小中学校を対象に「子育て講座(40講座)」を開催する。また、「おしゃべり広場ひだまり」は子育てサポーターと連携し、子育て中の親を対象に育児の悩みや不安の解消を図る。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 昨年度より継続している「おしゃべり広場ひだまり」を前期・後期12回実施し、今年度は子育てを頑張っているパパを対象とした事業や自然体験ができる事業も実施した。また、今年度から新たに実施した「家庭教育支援チーム推進事業」では、子育てサポーター養成の研修・事業を展開し、樹海ドームにおいて「木育ひろばin大館きりたんぼまつり」を開催し、約1,000人の親子が木のおもちゃに触れ合い、癒しの時間を過ごした。
課題等	今年度養成した子育てサポーターのスキルアップのため、引き続き研修を受講できる機会をつくる。また、「おしゃべり広場ひだまり」をもっと市民に周知するためにも、各地区公民館などで開催したり、働いているパパ・ママも参加できるよう土日開催を取り入れる。
	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	きりたんぼまつりに木育ひろばというのは、とてもいいアイデア。少子化の今、いろいろな場面での子育て支援が必要で、非常にいいこと。頑張って継続していただきたい。

重点施策点検・評価表

3-2-2

推進目標						
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援					
重点施策						
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)				
	③ 音楽療法士派遣事業	生涯学習課				
	活動内容	継続事業として、小中学校からの派遣依頼を受け、特別支援学級在籍児童に対し音楽療法を実施し、児童の情緒の安定を図る。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 今年度も要請のあった市内5小学校・1中学校の特別支援学級を対象に全24回の派遣を実施した。派遣する音楽療法士と学校の先生が協力して音楽学習等の活動を行い、児童生徒の精神的な安定と他人とのコミュニケーション能力の向上に努めることができた。				
	課題等	予算の増額は難しい中、新たに派遣を希望する学校に対応できるよう、1校当たりの派遣回数を調整する必要がある。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続					
	<input type="checkbox"/> 廃止検討					
	<input type="checkbox"/> 単年度					
	学識経験者等の意見	障害を持つ子の親御さんは苦勞している。行政が障害を持つ子にもこういうことをしていると市民の理解を得るためにも、可能であれば複数校合同での開催を考えてみてほしいのではないか。他校の親御さんとの交流も生まれるかもしれない。ぜひ継続をお願いしたい。				
④ 青少年健全育成活動の充実	生涯学習課					
活動内容	青少年健全育成推進方針を策定し、関係機関と連携を図りながらさまざまな活動を実施し、青少年健全育成に対する市民の意識高揚と青少年健全育成のための環境整備を図る。					
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年健全育成推進方針の策定と関係機関との共通認識・連携を図るため青少年問題協議会を開催した。また、7月2日(土)の「青少年を非行から守る市民のつどい」では、300人以上が参集し、桂城公園集会和街頭パレード、防犯文集朗読発表を行うことで、青少年を非行や犯罪から守り、心身共に健やかに成長できる明るい社会づくりを推進した。					
課題等	各機関・団体の活動・取り組みの成果もあり、大館市の非行・不良行為の児童生徒数は減少傾向にある。今後も継続して活動を進めるとともに、SNS関連の青少年トラブルを未然に防ぐための活動を強化する。 <table border="1" style="float: right;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度	
取組の方向性						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見	集会やパレードを継続することにより市民への理解は深まると思う。頑張っていて継続していただきたい。					

重点施策点検・評価表

3-2-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑤ 少年相談センターの活動の充実
活動内容	青少年が抱える悩みや問題を解決するための相談活動や指導員による巡回活動のほか、関係機関・団体・学校等と連携したさまざまな活動を行うことにより、青少年の健全育成を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 年間100件を超える相談活動のほか、少年指導員活動として街頭パトロール及び生徒指導主事協議会との合同巡視、青少年健全育成の環境浄化を行う。また、市内全小中学校との情報交換会やおおとり教室・子ども課・教育研究所等の関係機関と連携を図りながら、青少年に限らず相談者の抱える問題解決に努めている。
課題等	近年では相談件数が100件を超えるほか、相談内容も青少年関係に限らず親同士のトラブルやDV相談など多種にわたり、相談対応者への負担が増してきている。
学識経験者等の意見	現所長は、県で義務教育にかかわるすべての事柄を経験したうってつけの人材。できるだけ現所長に続けてほしいと思っている。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	⑥ 関係機関への支援
	生涯学習課
活動内容	青少年育成大館市民会議、大館市子ども会育成連合会、大館地区少年保護育成委員会など、青少年健全育成関係団体に活動費の補助や活動支援を行うことにより、地域の青少年健全育成活動の充実を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 青少年健全育成活動や社会教育活動に関わる上記団体に対して活動費の補助を行ったほか、青少年育成推進事業シンポジウムや子ども・若者活躍推進事業取組発表会などの各活動面においても支援している。
課題等	会員の不足などにより、止むを得ず活動休止となる団体もあることから、連絡・連携を密にして、今後も活動内容の把握に努め、支援を継続する。
学識経験者等の意見	お金がかかることで、予算の確保が大変だろうが、援助の継続をお願いしたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-2-4

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する
	担当課(館)
	生涯学習課
	⑦ 社会教育委員の活動の充実
活動内容	生涯学習推進計画や社会教育推進計画等、社会教育推進のための基本方針や重点施策を策定し、教育委員会点検・評価に対する必要な意見・提言を行い、社会教育活動の推進を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 教育委員との合同学校訪問、北教育事務所主催の学校訪問や教職員実践発表会へ参加。各校が取り組むふるさとキャリア教育の実績・効果等を再確認し、各種会合等で当市のふるさとキャリア教育を発信するなど社会教育委員活動につなげている。また、社会教育・生涯学習の重点施策や事務事業の点検・評価について協議し、必要な意見・提言を行った。
課題等	ふるさとキャリア教育や学校と地域のつながりの中に、社会教育委員として関わり、見える活動を展開していきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	社会教育委員の学校訪問は、かつてはなかったこと。実際の現場を見ることは大事で、行けばアドバイスもできるはず。社会教育委員の人たちは、教職関係の人たちとは違った視点を持っていると思う。学校訪問は、ぜひ継続していただきたい。
	⑧ 生涯学習推進体制の充実
	生涯学習課
活動内容	生涯学習に関する市民の意見・要望を反映させるため、関係相互団体と連携し、生涯学習推進協議会において協議するとともに、地域において学習活動を奨励するため、生涯学習奨励員の自己研鑽と活動の充実を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 生涯学習推進協議会については、7月26日に協議会を開催。平成28年度生涯学習推進計画、社会教育推進計画を案件とし、各委員からさまざまな意見等が出された。また、生涯学習奨励員については、個人の活動のほか、総会及び自主研修会の開催、生涯学習フェスティバルへの協力、被災地支援・交流事業への参加、県及び北鹿地区総会・北鹿地区研修会への参加などの活動を行った。
課題等	生涯学習奨励員について、会議や研修会等により多くの奨励員が参加できるように日程等の配慮を要する。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	研修・研鑽により奨励員の質は高まるが、大切なのは、研修・研鑽で得たものをいかに市民に還元させるか。大事なことだが、そこが難しいところ。行政で何か仕組み・仕掛けをつくる必要があるかもしれない。

重点施策点検・評価表

3-2-5

推進目標						
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援					
重点施策						
2	「未来大館市民」を育成するための社会的連携態勢を構築する	担当課(館)				
	⑨ 高齢化社会に対応した生涯学習の充実	中央公民館				
	活動内容	公民館サークル活動等の学習成果を生かす場の拡充や、高齢者の豊かな体験・知識・技術・特技を生かす場を充実させる。各地区館の高齢者学級を充実させるため、会員に意見を聞き、環境を整える。				
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 中央公民館をはじめ、各地区公民館とも高齢者学級の育成・強化に力を入れ、公民館祭や地区文化祭などで、発表の場を設けている。また、各地区のサークル活動でも高齢者が活躍する機会が多い。こうした状況から、高齢者の学習意欲を高めることに配慮することは言うまでもなく、例えば釈迦内公民館で、高齢者に子どもらに対する『昔の遊び』の指導を依頼しているように、各地区公民館でも世代間交流を兼ねた同様の催しを行っている。				
	課題等	中央公民館では、各地区公民館の高齢者学級に籍を置いている利用者も多く、他施設の活動日と日程が重なることもあり、作品展示参加者が減少する傾向もあるが、利用者の意見を入れながら、来場に興味を引くような企画を立て、環境を整備していきたい。 <table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
取組の方向性						
<input checked="" type="checkbox"/> 継続						
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見	老壮大学(中公)、高齢者学級(地区公)とも、事業は活発にやっているようだが、年々参加者は減っている。その理由は60歳を過ぎても働いている人が増えているからではないか。書初めや将棋など、子どもたちに指導しながら世代間交流しているのはとてもよい。生きがいつくりにもなる。高齢者は声をかけられるのを待っている。ぜひ継続してほしい。					
	活動内容					
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)				
	課題等	<table border="1" style="float: right; margin-left: 20px;"> <tr> <td>取組の方向性</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 継続</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 単年度</td> </tr> </table>	取組の方向性	<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 廃止検討	<input type="checkbox"/> 単年度
	取組の方向性					
	<input type="checkbox"/> 継続					
<input type="checkbox"/> 廃止検討						
<input type="checkbox"/> 単年度						
学識経験者等の意見						

重点施策点検・評価表

3-3

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
3	高校生や大学生による「街づくり活動」等を支援する
	担当課(館)
	① 高校生・青年層対象の生涯学習ボランティア養成講座の実施
	中央公民館
活動内容	高校生や若い世代に公民館活動の紹介と生涯学習ボランティア活動を体験してもらい、公民館の積極的な活用を促進する。国の支援事業から離れ市単独の事業となった「高校生まちづくり会議HACHI」の活動を継続して実施するとともに、地元の大学ともタイアップした事業を企画・立案し進めていく。参加者へ活動が支障なく引き継げるよう高校の行事や試験日程等にも配慮する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 平成25年度から活動を開始し、全国的にも名の知られた「高校生まちづくり会議HACHI」の活動は、現在も目覚ましいものがある。平成27年度からは市単独の予算となったため、何かと不自由をかける面もあるかと思われたが、新たな企画を立ち上げるなど、かえって活発化している。市のイベントにもボランティアとして積極的に参加し、自ら企画した事業を地域行事の中で実施したりしている。また、平成28年度からは秋田看護福祉大学との提携も始動し、同校の学生の生涯学習フェスティバルへの運営・参加が実現した。
課題等	高校の学校行事の時期など、どうしても活動参加者が少ない時期もあるが、卒業生にも参加を呼びかけ、活動の幅を広げていきたい。また、小・中学生にも「HACHI」の活動を紹介して参加を呼びかけ、活動の継続を図っていききたい。さらに、秋田看護福祉大生の活動の幅を広げるよう受け皿をつくっていききたい。
学識経験者等の意見	HACHIの大館めぐりなど、大館のよさを知ってもらうのはいいことだと思う。看護福祉大が生涯フェスにボランティアとして出るのは、学生が社会に出る前にいろんな体験をする意味で大変いいと思う。また、高齢者とふれあうのも大変いい経験になると思う。継続してほしい。また今度は学生が企画したものをやってみるのもいいのではないかな。
	② ふるさと元気づくりパワーアップ事業の実施
	生涯学習課
活動内容	被災地での活動を継続することにより、高校生や大学生の地域貢献の意欲向上につなげ、地元での活動の充実を図る。
点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 国の委託事業「都市と農山漁村の教育交流事業」として継続実施。気仙沼での家庭教育出前交流を、事業の主旨である大館市のプラットフォームを形成するメンバーとして、子どもハローワークで募集した中学生、高校生・大学生・ボランティア団体・サポーターなどさらに拡大し、新たなメニューも展開できた。また、今年度の特色として大館を紹介できるメニューで交流を深め、お互いの元気につながった。
課題等	出前交流in気仙沼にボランティアとして参加した中学生・高校生・大学生の声を市民に向けて情報発信する機会を設ける。 また、今年度も地元紙・北鹿新聞の同行取材・掲載をしていただき、初のケーブルテレビ放映を試みたので、継続して市民に向けて発信する。 事業に参加した学生たちの交流体験を地元での次の活動に活かせる場を提供する。
学識経験者等の意見	若い世代の意識付けとなるいい事業。今年度の成果と課題をみて、次年度以降、継続する場合のメリットを探してみてもどうか。

重点施策点検・評価表

3-4-1

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)
	① 「生涯学習フェスティバル」の実施	生涯学習課
	活動内容	社会教育施設・各種機関・団体等に協賛・参加を呼びかけ、生涯学習に関する実践活動の発表の場や理解する機会を提供し、市民一人一人の生涯学習への意欲を高める。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 9月・10月を生涯学習推進月間とし、勤労青少年ホームや郷土博物館をはじめとした各機関・団体等の協賛イベントが開催され、延べ参加・入場者数は11,234人となった。また、9月24日・25日をメイン開催日とした中央公民館では、中央公民館サークル協議会や大館桂桜高等学校、子育てグループのほか多くの団体等から協力を得て、各種展示会や体験コーナーなどを企画し、広く市民が生涯学習に触れる機会とした。
	課題等	平成29年度は、きりたんぼまつり・敬老会等の各種イベントと重複しないよう、9月23日・24日をメイン開催日として開催を予定している。メイン開催日の参加団体等を広く募集して新規コーナー等の開拓を図る。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	お互いの行事予定を見ながらバッティングしないよう日程を組み継続を。フェスティバルを楽しみにしている市民は多い。幼稚園や小学校の子どもたちの作品を展示すれば、見に来る市民も多くなると思う。頑張って継続していくことも観点の一つ。
	② 「大学公開講座」の実施	生涯学習課
	活動内容	市民の多様化・高度化した学習要望に応えるため、地域の高等教育機関との連携による公開講座を開催する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 第22回となる「大学公開講座」を、秋田看護福祉大学の協力のもと7月4~6日の日程で開催し、秋田看護福祉大学の教授陣に各専門分野についてわかりやすく講義していただいた。また、今年度は生涯学習課の被災地支援事業にボランティアとして参加していただいた学生の体験発表を行ったことにより、最終日は3日間で最も多い受講者数となった。
	課題等	大学側では、講師の選定やテーマに苦慮しているようであるが、健康面、ボランティア活動や福祉などの中でも、市民のニーズに合わせたテーマを選定し開催することが必要である。また、周知の仕方についても、学生を含めより多くの市民の参加が得られるように、市や大学のホームページに掲載し、各種団体にチラシ等を配布するなどさらなる検討が必要である。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	学生も4年生ともなれば、かなりの知識を持っている。学生が講師となる講座も可能ではないか。一般の人たちも親しみやすい内容になるのではないかと。	

重点施策点検・評価表

3-4-2

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)
	③ 地域活動団体への支援	生涯学習課
	活動内容	大館市連合婦人会等、地域活動団体への補助・活動支援を行うことにより、地域活動の活性化を図る。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 補助金は、事業費の一部ではあるが、市の予算の範囲内で、申請のあったすべての団体に交付できた。各団体とも新会員の拡大に努め、活動内容を工夫し、衰退しないように努力している。
	課題等	今後も、市の予算の範囲内で補助金を交付し、情報交換しながら活動の支援をする。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	少子化・高齢化で団体の減少・衰退はやむを得ないかもしれないが、支援の継続をお願いしたい。
	④ 地区住民や関係団体との連携強化	中央公民館
	活動内容	地域コミュニティ活動を支えるため、関係団体・関係機関と情報交換を行い、さまざまな角度から支援を行う。また、その活動の様子を関係団体等に紹介することで連携を強化する。特に東日本大震災以降は避難所としての機能の強化がより一層期待され、地区住民との連携強化が不可欠であるため、より良い協力関係を築いていく。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 地区公民館では地域の協議会や地元の婦人会と共催で事業を行うことが多いので、そういう団体の行事にも応援として手伝うことも多い。物品の調達では各公民館が協力し合ったり各関係機関や地元の団体の応援を得ることもある。
	課題等	地域活動に公民館が協力することはもちろんのこと、他にも自然災害が多発している昨今、地域住民の避難施設としての役割を担う場合もあるので、少ない職員数で避難所として機能するためには、地域住民との連携は欠くことができないため、より良い協力関係を築くよう努力していきたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	避難所機能の充実を図るため公民館は地区と仲よくする必要がある。日頃から地域でできることはやっていったほうが良いと思う。例えば清掃活動や除雪など。ただ災害時、避難するだけではだめなので、避難所に行ったら何をするか。共助することが大事である。また、災害時公民館の職員が指揮できるかが課題である。継続してほしい。	

重点施策点検・評価表

3-4-3

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)
	⑤ 地域コミュニティづくりに向けた支援体制の強化	中央公民館
	活動内容	地域のコミュニティ活動の拠点として、地区公民館の環境整備及び地区の特色ある事業の支援を行う。地域内の施設や設備を、さらに積極的に活用されるような取り組みをする。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 平成26年度には下川沿公民館の新築、平成28年度は長木公民館の新築と矢立公民館の移転改築の事業が行われた。今後も、地元の要望を受け入れながら施設や設備の整備に努めていきたい。
	課題等	施設の整備が進み、受け皿が整ったら、これらの施設がさらに積極的に利用されるような取り組みも必要である。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	田代・比内の分館の整備がこれからのようだが、予算と事業計画を立てて頑張ってもらいたい。また、地区館、分館とも残してもらいたい。
	⑥ 公民館事業の充実と参加促進	中央公民館
	活動内容	公民館の各種事業の内容を充実させ、魅力ある講座を開催する。さらに参加者の動向を見ながらレベルアップを図ることで、活発な公民館活動を展開する。特に高齢の参加者の場合、個人の体力等の差が年を追うごとに開きが大きくなる場合があるため、参加者同士が支え合う良い雰囲気をつくるように心掛ける。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 各事業の終了後、アンケートを取るなどして、参加者の考えをできるだけ反映するように努力している。今後もそれらを生かして事業を展開していく。
	課題等	事業内容がマンネリ化しないように、NPOや出前講座を利用しながら、開設している講座を充実させるとともに、新規の講座開設の構想を練っていききたい。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	事業がマンネリ化し、受講者が減っている講座があってもなくさないでほしい。特に地区公。楽しみにしている人がいるし、またその人が誰かを連れてくるかもしれないので。新規の講座はなかなか難しいと思うが地区の学校と連携してみるのもいいのではないかな。	

重点施策点検・評価表

3-4-4

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
4	「ふるさと学習」の機会を積極的に提供し、地域を誇れる素地を醸成する	担当課(館)
	⑦ 放課後児童健全育成事業及び放課後子ども教室推進事業並びにわくわく土曜教室推進事業の実施	生涯学習課
	活動内容	放課後児童を対象として、「安全・安心」を第一に充実した放課後を過ごせる場を提供する。さらに、土曜日等の支援として体験活動や学習機会を提供する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	課題等	4月1日より城南第二児童仲良しクラブ・矢立キラキラクラブが開設となり、これにより全小学校区での放課後児童クラブが運営された。また、今年度も各児童クラブごとの特色ある事業の展開や、直営全体でのスポーツ交流会やドッジボール大会が盛況に行われ、他校の児童との交流や支援員同士の交流が図られた。支援員の情報交換やスキルアップ・資質向上を目的として毎月行われている定例会・研修会では、多彩なメニューで学習を積み重ね、児童の安全で安心な居場所づくりに努めている。
	学識経験者等の意見	学校を核とした地域力強化プランの取り組みとして、放課後児童クラブと放課後子ども教室一体化の推進が望まれているが、当市の児童クラブは、直営・学校の余裕教室を利用した委託事業・指定管理とさまざまな形態で実施されており、それぞれの地域性を考慮しながらニーズ調査をして、今後検討する必要がある。また、ADHDなどの障害児に対する支援については、従事する支援員を適正配置できるよう、協議しながら、事故・けがのないように努めていかなければならない。
		取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
		子育て中の親には、大変ありがたい事業。少子化対策のためにも頑張って行政で継続していただきたい。
		0
	活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)	
課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度	
学識経験者等の意見		

重点施策点検・評価表

3-5

推進目標		
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援	
重点施策		
5	「生涯読書」活動を推奨し、その推進と拡充に努める	担当課(館)
	① 図書館運営に関する進行管理	生涯学習課
	活動内容	指定管理制度による図書館運営について、指定管理者の提案書に基づく適正な運営に対する必要な支援と指導を行い、図書館サービスの向上を図り「生涯読書」活動を推進する。
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 月次定例会議を継続し、図書館運営を把握するため、相互の情報を共有し共通理解している。指定管理導入後4年目にあたり、さらなる事業及びサービスの充実を図り、広報の掲載やホームページ等により情報発信し、利用者拡大に努めている。「ぬいぐるみお泊まり会」や「ふるさとかるた作り」など新規事業を展開し、貸出冊数の上限を次年度に向けて改正するなど利用者サービス向上に努めている。 また、多目的室増築工事も順調に進行し、駐車場が拡大され4月の竣工を迎える。
	課題等	移築された松下村塾と増築となった多目的室を有効活用し、新規事業を展開しながら、さらに魅力ある、市民に親しまれる図書館運営ができるよう、指定管理者への要望には、十分協議しながら支援していく。 取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	今後も指定管理者の文教振興事業団と十分協議しながら、図書館と松下村塾の運営をしていただきたい。
	活動内容	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
	課題等	取組の方向性 <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	

重点施策点検・評価表

3-6

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
6	伝統・芸術・文化の継承と振興を支援する	担当課(館)	
	① 芸術文化団体への支援	生涯学習課	
	活動内容	大館市芸術文化連盟や比内芸術文化協会、田代地区芸術文化協会等、芸術文化団体に対し補助を行うことにより、地域の伝統文化や伝統芸能の活動を支援する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 市の予算の範囲内での補助金交付を行っているが、各団体とも補助金を有効に活用しながら、活動内容を工夫し運営に努めている。	
	課題等	少子高齢化により会員の減少傾向という課題もあるが、各団体とも伝統文化・芸能の保存・承継に積極的に取り組んでいるので、今後も衰退しないように事務的な面でも支援していく。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	活動している人たちにとって、補助・支援があるのはありがたいこと。補助・支援を継続していただきたい。	
	② 芸術文化に関する事業の積極的な周知・活用	生涯学習課	
	活動内容	文化庁などが所管する各種事業等に関係団体や文化施設・学校等に積極的に周知、活用することにより、地域における芸術文化体験の機会を提供する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 関係団体や学校等に対して事業の周知を図り、平成28年度は「あきたの子ども文化体験促進事業」が2校、文化庁「文化芸術による子供の育成事業」のうち巡回公演に2校、同じく芸術家の派遣事業に1校が採択され、子ども達は質の高い芸術活動を身近に感じ、豊かな創造力・想像力を養う機会となった。	
	課題等	「秋田県青少年劇場」など開催校等で経費負担が発生する事業もあり、学校等が活用しやすいように申請援助等について検討する。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	生で音楽を聞いたり演劇を見たりすると、子どもは目を輝かせ非常に喜ぶ。頑張って支援の継続をお願いしたい。		

重点施策点検・評価表

3-7-1

推進目標			
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援		
重点施策			
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する		担当課(館)
	① ニホンザリガニ生息地の緊急調査事業を行う		歴史文化課
	活動内容	3年目を迎える今年、指定地水系の生息状況を調査し、これまでの調査結果を取りまとめ、報告書を刊行する。	
	点検評価	<input checked="" type="checkbox"/> 目標を上回る <input type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) 最終年度を迎え、指定地水系で生体を確認することができ、その調査結果を残すこともできた。現指定地の天然記念物指定も危ぶまれていただけに、まずは将来見通しに可能性を残すことができた。報告書の内容についても、DNA調査の結果をはじめ、専門家による科学的な考察が加えられ、これまでにない内容の充実したものとなった。	
	課題等	3年間の調査結果は、今後天然記念物指定地を回復するための準備段階に過ぎない。今後は、飼育や増殖により少なくなった個体数の回復をめざし、最終的には新たな生息地を確保して、天然記念物指定地の回復まで、粘り強く取り組む必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	今回の報告書の内容は、DNAの調査結果が取り上げられるなど、大変充実したものになっている。鳳鳴高校生物部を巻き込んだ取り組みは評価できる。未来の担い手である子どもたちが興味を持てる取り組みだったと感じる。可能ならば今後は、大館産ザリガニの個体増に向け、さらに深く追及してほしい。	
	② 市内遺跡発掘調査及び記録・出土品整理		歴史文化課
	活動内容	新庁舎建設に伴う予定地については、今年度の目標面積を1,400㎡に設定し、庁舎建設推進室をはじめ、関係部局と連携をとりながら埋蔵文化財の調査を行う。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (達成率100%超) (95~100%) (80~94%) (80%未満) ほぼ予定していた面積の調査を終え、11月26日(土)に現地説明会を開催することができた。遺物撤去後の部分的な調査は残ったが、次年度の序盤でカバーできる見込み。	
	課題等	次年度からはプール解体後の堀部分を調査することになる。想定している深さは6m、面積は1,600㎡近くで、これを2年間で行うことになる。地下水流入と崩落防止のため、矢板の設置は必須と考える。未体験の調査環境であるため、安全の確保が一番の課題である。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	今後も作業人夫費用、工事費用等がかさむことが推測される。出土品の整理など長期にわたる作業となるので、頑張って継続してほしい。出土品の保存場所の確保など状況に応じて対応を考えてください。		

重点施策点検・評価表

3-7-2

推進目標	
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援
重点施策	
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する
	担当課(館)
	③ 歴史的風致維持向上計画の策定と国の認定に向けて支援を行う
	歴史文化課
活動内容	現在まちづくり課が主担当として取り組んでいる「歴史的風致維持向上計画」の策定に向けて、特に文化財保護関連の分野について支援する。認定後の取り組みについても、まちづくり課と協議しながら進める。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 着手時点では相当に困難と考えられていた「歴史的風致維持向上計画」だが、3月17日に認定をいただいた。3省庁の関係者をはじめ、様々な方面から協力をいただき完成にこぎつけることができた。今後はさらに多くの皆さんに賛同をいただけるよう取り組んでいきたい。
課題等	計画の策定については、認定をいただいたことで取り組みを終えることになる。今後は、計画に盛り込まれた事業に取り組む形で重点施策のメニューを変更することになる。大館八幡神社、鳥潟会館などの文化財の保護と管理、歴史的風致建造物の指定のほか、ガイド養成など文化財部門として取り組むことは多い。
学識経験者等の意見	文化財等のガイドボランティアは、高校生などの若い人や、退職後のひとまで魅力ある仕事になるのではないかと考える。支援応援を頑張ってほしい。 歴史的風致維持向上計画策定の取組終了後のさらなるステップアップを期待する。
	取組の方向性
	<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	④ 企画(特別)展の開催とホームページを活用した効果的な情報発信
	歴史文化課
活動内容	郷土博物館の開館20周年を迎える今年、外部団体の協力を得ながら特別展等を開催する。同時にホームページを活用してイベントや展示の情報を発信するとともに、利用ガイドの導入により、小中学校でのさらなる活用を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 開館20周年記念として、根田穂美子絵画展や佐藤純顧氏の人形展、おひなさま展にも工夫を凝らすことができた。ホームページを活用した情報発信の他、ツイッターの件数は年間60回を超え、積極的な情報発信を行っている。利用ガイドの活用は未知数であるが、市内の小中学校に限らず、市外の学校からの来館もある。
課題等	発掘調査やれき町関連の業務量が増加し、博物館の展示業務に向けるマンパワーが不足する傾向にある。それぞれの分野の第一人者や外部の団体と連携を取って、博物館の経営や展示に協力いただく体制づくりが必要である。
学識経験者等の意見	地元出身の芸術家をお知らせする活動は、若い世代に関心を持たせる取り組みになる。各種組織から博物館展示の機運が高まることを期待する。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

3-7-3

推進目標				
3	ふるさとの誇りと未来をはぐくむ生涯学習の推進と支援			
重点施策				
7	文化財の保護と調査を進め、歴史的風致の維持向上と地域を支援する		担当課(館)	
	⑤ 秋田三鶏記念館の孵化事業の安定化		歴史文化課	
	活動内容	入卵数の目標を受け入れ上限である600個に設定し、有精卵の70%を上回る孵化率を目標として、平成28年3月から6月まで実施する。		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)		
	課題等	入卵数は562個で目標の約94%、孵化率は有精卵の約74%となった。前年度は、声良鶏の孵化率があまりに悪かったため、例年3回の孵化を4回に増やしたが、今年度は3回の孵化で目標の孵化数(率)を達成できたので、総合的には目標を達成できたと判断している。今年度は、保存会による三鶏のスケッチコンクールも実施され、子ども達へのPRに貢献した。	声良鶏と金八鶏の孵化率がよくないことは、毎年の課題となっている。県外も含めたより広域的な交配の取り組みが必要と思われる。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
	学識経験者等の意見	孵化率向上のため、近親交配を避けるよう組織に対し、できる範囲でかつ長期的に意識付け支援をしてほしい。		
	⑥ 鳥潟会館・庭園の維持管理計画を策定する		歴史文化課	
	活動内容	県指定文化財である建造物及び庭園を将来に向けて維持するために、そして、国指定文化財を目指して健全な維持管理を行うために、維持管理計画を策定する。		
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input checked="" type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)		
	課題等	澤田享教授や浅倉卓也教授による建造物の調査については、一定の成果を上げることができた。今後は、これまでの調査の結果を一旦まとめる方向で取り組む予定である。文化庁の島田調査官にみていただく機会があり、今後重文を目指すのであれば、取り組みの方向性を考えるべきという指摘をいただいた。これを参考に、今年度は次年度以降の取り組み方法を考え直す機会となった。		一つは、次年度に建造物や庭園の専門知識を持つ文化庁の調査官の派遣をお願いして、鳥潟会館の今後目指すべき方向性を見出す必要がある。それをもとに、市の政策としてこの地域のこの施設をどのように位置づけ、どのように活用していくのかということも協議しながら、重文を目指す取り組みを考える必要がある。
学識経験者等の意見	重要文化財指定に向けての取組方向転換については理解した。施設の維持補修計画をできるだけ早く策定し、必要であれば入館料の見直しまで取り組んでほしい。			

重点施策点検・評価表

4-1、4-2

基本目標			
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充		
重点施策			
1	スポーツ関係団体との連携・支援を強化し、生涯スポーツを推進する		担当課(館)
	① スポーツ関係団体との連携・支援		スポーツ振興課
	活動内容	体育施設の指定管理者である体育協会、市内3地区の総合型スポーツクラブと連携を図り、市民のニーズに応えるきめ細かいスポーツ事業を展開する。今年で4回目を迎えるチャレンジデーは全市民的に生涯スポーツを推進する大きな機会であり、PR等最大限利用し、スポーツへのきっかけ作りに位置付け、推進する。また、山田記念ロードレース大会などの開催にあたり、主管競技競技団体の高齢化や会員不足により、従来の取り組みが難しくなっている現状から、各競技団体との意見要望を踏まえ、支援も含め、市スポーツ振興の基盤である競技団体との連携を図っていく。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 市の競技団体を統括し、また体育施設の指定管理者である体育協会と連携を図り、助言、指導に努めることにより、体育協会の自主事業の開催、チャレンジデーへの参画など、地域単位、町内単位での生涯スポーツの推進が図られた。また、陸協が主管する山田記念ロードレース大会や比内駅伝、スキークラブが主管する市民スキー大会への積極的な協力を行うなど、体育協会の役割が増し、円滑な大会運営に貢献した。	
	課題等	市内の総合型スポーツクラブ(BTO,ひない、田代)の活動については、BTO(プレージントルシーダ)はすでに自立し、活動も順調であるが、後発のひないスポーツクラブ及び田代スポーツクラブの活動については、地域スポーツ活動の中核団体として、今後自主運営へ移行する過渡期を迎えている。両スポーツクラブとも、会員の確保が進んでおらず、自立に向けて市としてもその支援に努めたい。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	市民のスポーツの習慣化のきっかけづくりとなるチャレンジデーについて、毎年新種目を導入するなど工夫が見られ評価したい。 ひないスポーツクラブ及び田代スポーツクラブの支援にあたり、すでに自立しているBTOの活動の足跡を検証したうえで、継続した指導、助言をお願いする。		
2	スポーツ少年団や地域スポーツ指導者の発掘・育成に努める		担当課(館)
	① スポーツ少年団指導者や地域スポーツ振興に資する人財の発掘・育成		スポーツ振興課
	活動内容	スポーツ少年団の社会体育化によって、指導者の確保が大きな課題である。毎年スポーツ少年団の指導者研修には多くの保護者が参加され、資格を有し、活動を支えているものの、専門的な指導者の確保は困難な現状である。地域においてもそのスポーツの振興には、スポーツ推進委員がその役割を大きく担っていますが、より専門的な指導者が求められている。親任せの指導体制から、指導者養成講座等を開設、やるきのある方を広くその人財を求め、スポーツ指導者の育成・発掘を検討する。	
	点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 今年度もスポーツ少年団活動の現地視察を市スポ少本部と実施し、現状把握と指導者要望に対応してきた。また、スポーツ少年団指導者の相互連帯、指導力向上を目的として、市スポーツ少年団設置規程が一部改正され、スポーツ少年団指導者協議会を設置することとしている。地域スポーツ振興へ大きな役割を担うスポーツ推進委員においては、各地区スポーツ事業へ中心的に参画し振興を図っている。指定管理者である体育協会においては、独自にバレーボール、陸上、サッカー等の講習会を開催し、指導者の育成・発掘に努めている。	
	課題等	社会体育化4年目を迎えるスポーツ少年団活動であるが、ほとんどが保護者父兄の指導者でそれぞれ頑張っているが、どうしても短期間になりがちである。スポーツ少年団指導者協議会により長期的な指導者の育成、発掘を図っていく必要がある。	取組の方向性 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	スポーツ少年団の指導の継続性、連続性が問われている。他地区も開始当初は同様な課題を抱えていたと思うので、他地区を研究しながら、大館市モデルを構築できるような課題克服に取り組んでいただきたい。		

重点施策点検・評価表

4-3、4-4

基本目標	
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充
重点施策	
3	大会や合宿を誘致し、スポーツツーリズムによる地域活性化を推進する
	担当課(館)
	① スポーツ大会や合宿誘致などのスポーツツーリズムによる地域活性化を推進する
	スポーツ振興課
活動内容	大型体育施設を活用した、大会、イベント、合宿誘致などのスポーツツーリズムを推進するため、より積極的な活動を行う。合宿誘致を図るため、補助金制度を確立する。東京、北海道等での直接勧誘や誘致用パンフレット作成・配布を行い、PR活動に努め、スポーツツーリズムによる地域活性化を図る。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 7月に大館市スポーツ・文化合宿等誘致促進事業費補助金交付要綱を制定し、東京都、北海道、仙台市などでの大学、高校への誘致活動を行ったほか、市及び秋田県ホームページなどへの掲載、北海道、東北地区の大学などへのパンフレット送付等広報活動を実施した。これにより、7団体、194人の利用があった。 また、スポーツイベントについては、9月の「日本マスターズ2016秋田ソフトテニス競技大会」、10月の「第3回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン大館大会」が開催され、4,000人を超える誘客が図られた。
課題等	要綱制定が7月ということもあり、利用が冬季期間で、使用施設も樹海ドームに限定された。夏季期間及び他大型体育施設の利用を促進するため、対外的なPRと並行し、地元スポーツ団体にも情報提供し、情報を発信していただくことで更なる利用促進を図る。 スポーツイベントについても、体協及び各単協と連携を図りながら、誘致を進める。
学識経験者等の意見	合宿誘致事業は交流人口の拡大、地域活性化などの望ましい実績に結び付いていると思われる。さらなるPR、情報発信に努めていただきたい。 「第3回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン大館大会」は非常に盛況であったと感じた。大規模大会誘致について、持ち回り大会も含め、今後も継続した取り組みをお願いする。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
4	近隣市町村と連携し、スポーツ交流を推進する
	担当課(館)
	① 近隣市町村との連携したスポーツ交流の推進
	スポーツ振興課
活動内容	競技力向上やスポーツ機会の提供を図るため、近隣市町村と連携し互いのスポーツイベントや各種講習会などを活用できないか検討する。近隣市町ならではの体育施設(樹海ドーム、パークゴルフ場、屋内プール、スキー場等)でのイベント等を、連携して互いの活用を検討、スポーツ交流を推進する。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) 長根山陸上競技場の芝生張替工事による大会の開催地変更により、代替として北秋田市陸上競技場や鹿角市陸上競技場で実施された。必要な備品等の貸し出しを行った。旧大館工業高跡地のスポーツ公園構想を近隣2市1町1村に説明。施設の利用を働き掛けた。今後、プールやパークゴルフ場等相互利用の取り組みを検討する。
課題等	少子高齢化、人口減少により各自治体で主要な体育施設を新たに整備することは困難な状況にあることから、施設の広域利用を推進する。 大規模なスポーツイベントや互いの施設の有効活用を図るべく、情報共有し担当部署レベルでの協議を促進する。
学識経験者等の意見	近隣市町村と連携し、施設利用及び必要備品の貸し出し等の広域利用を促進する取り組みを評価する。パークゴルフやグラウンドゴルフなどのニュースポーツを楽しむ人が増え、健康増進にも繋がっていると感じている。各自治体で整備が困難な施設について、広域による相互利用で補完する取り組みを進めていただきたい。
	取組の方向性
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度

重点施策点検・評価表

4-5

基本目標	
4	市民スポーツの振興とスポーツ交流の拡充
重点施策	
5	多様なニーズに対応したスポーツ・レクリエーション施設の整備計画を推進する 担当課(館)
① 市民プールの代替施設及び二ツ山総合公園幼児用エリアの整備、老朽化体育施設の統廃合 スポーツ振興課	
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成28年度解体する市民プールの代替施設として、旧大館工業高校施設の利用を念頭に整備計画を推進する。 二ツ山総合公園のアスレチック広場跡地に水遊び場や総合遊具、トイレを設置するなど、幼児用エリア(仮称)を総合的に3か年で整備する。 老朽化が進み体育施設について、統廃合を含めた整備計画を作成(大滝温泉スキー場の廃止を含む)する。また、平成29年度2種公認検定を迎える長根山陸上競技場の公認継続への計画的な整備を行う。
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input checked="" type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満) <ul style="list-style-type: none"> 旧大館工業高校跡地が県より譲与を受けたことから、市民プールの代替施設として、旧大館工業高プールを改修整備し、利用する。(平成29年7月中旬オープン予定) 二ツ山総合公園のアスレチック広場跡地の樹木抜根処分事業を実施した。平成29年度において、実施設計等を行い、30年7月オープンに向け、事業を進捗させている。 利用者の減少が続いていた大滝温泉スキー場について、廃止に向け地元関係者団体と協議を行い、合意が図られたことから、平成28年度営業休止、29年度から廃止とした。 長根山陸上競技場第2種公認継続事業について、平成28年度フィールド内の芝生張替工事及び円盤ハンマー投用囲い等の備品更新を実施した。
課題等	旧大館工業高校跡地について、花岡総合スポーツ公園として整備を進めていく構想であり、施設整備に向けて基本計画並びに整備計画を策定する。 市民体育館、武道館など老朽化が進んでいる体育施設について、廃止計画等に伴い、利用者との意見交換を実施し、利用者のニーズに応える計画を検討する。 取組の方向性 <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	施設整備を堅実な全体構想の基に計画的に進めていることは大いに評価する。 廃止を計画している老朽化体育施設について、既存利用者のニーズを把握することが重要である。市民ニーズを置き去りにしないよう、利用者配慮に努められたい。
担当課(館)	
活動内容	
点検評価	<input type="checkbox"/> 目標を上回る (達成率100%超) <input type="checkbox"/> 目標どおり (95~100%) <input type="checkbox"/> 目標をやや下回る (80~94%) <input type="checkbox"/> 目標を大幅に下回る (80%未満)
課題等	取組の方向性 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 廃止検討 <input type="checkbox"/> 単年度
学識経験者等の意見	